



Lantern Festival：授業アイデア（簡単版）

元宵節（ランタン・フェスティバル）をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 英語のちょうちんなぞなぞ大会

中学・25分

🎯 I am ～. I have ～. What am I? の形で英語のなぞなぞを作り、解き合う。

1. 元宵節の「ちょうちんになぞなぞを書く」習慣を写真で紹介する。
2. ちょうちん型の紙に、動物や食べ物を答えにした3文のなぞなぞを書く。
3. 教室につるして見て回り、答えを What am I? カードに書いて当て合う。
4. いちばんむずかしかったなぞなぞを全員で解く。

2. アジアの満月の夜くらべ

高校・30分

🎯 国ごとの行事を英文で読み取り、共通点とちがいを英語でまとめる。

1. 中国・台湾・マレーシア・韓国・日本（長崎・小正月）の1月15日の行事をグループで分担して読む。
2. それぞれ What do people do? / What do they eat? を英語で表にまとめる。
3. Both ～ and ～ celebrate the full moon, but ～. の形で発表する。
4. 中秋節との「まぎらわしさ」についても確認する。



1. 英語のちょうちんなぞなぞ大会

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

🎯 ねらい

元宵節にちょうちんのなぞなぞを解く習慣を知り、動物や食べ物を答えにして、I am ～. I have ～. What am I? の形で3文の英語のなぞなぞを作り、友だちのなぞなぞを読んで答えを英語で書ける。

📋 準備

- 赤いちょうちんがつるされた通りの写真（先生が用意する）
- ちょうちん型の紙（赤い画用紙を丸く切ったもの。1人1枚）とひもかテープ
- What am I? カード（番号と答えを書く欄。1人1枚）
- 基本セット p.1（読解：A Night of Red Lights）の第3段落と英語ページの音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	赤いちょうちんの通りの写真を見せ、元宵節が旧正月から15日目、新年最初の満月の夜であることを伝える。英語ページの音声で本文の第3段落を聞かせ、ちょうちんになぞなぞが書かれていて、人々が答えを当てようとすることを確認する。	写真を見て、第3段落を聞き、ちょうちんのなぞなぞの習慣を知る。	"Look at all these red lanterns!" "This is the Lantern Festival in China." "Many lanterns have riddles on them." "People read the riddles and try to guess the answers."
展開1	5	先生の見本のなぞなぞを2つ出して、全員で答えさせる（I am round. I am white and sweet. I have black sesame inside. What am I? → tangyuan / I am a big cat. I have a big head. People dance in my costume. What am I? → lion）。I am のあとに色・形・大きさ、I have のあとに体の部分や中身を続けることを確認する。	見本のなぞなぞを聞いて答え、なぞなぞの組み立てを確認する。	"Here is my riddle. I am round. I am white and sweet." "I have black sesame inside. What am I?" "Yes! Tangyuan, sweet rice balls." "Use 'I am' for color and shape. Use 'I have' for parts."
展開2	7	答えにする動物か食べ物を1つ決めさせ、ちょうちん型の紙に3文のなぞなぞを書かせる。答えは紙の裏に書かせる。最後の文は必ず What am I? にする。書けた生徒の紙に番号をつけ、教室につるさせる。	答えを決め、ちょうちん型の紙に3文のなぞなぞを書いて、教室につるす。	"Choose an animal or a food." "Write three sentences and 'What am I?'" "Write the answer on the back." "Hang your lantern on the string."
展開3	6	全員に What am I? カードを配り、教室を見て回ってなぞなぞを読み、番号と答えを英語で書かせる。わかった答えは書いた本人に Is it a ～? とたずねて確かめさせ、本人は Yes, it is. / No, it isn't. で答えさせる。	教室を回ってなぞなぞを読み、答えをカードに書いて、書いた本人に確かめる。	"Walk around and read the riddles." "Write the number and your answer." "Ask the writer. Is it a panda?" "Answer, 'Yes, it is' or 'No, it isn't.'"
まとめ	3	答えがいちばん出なかったなぞなぞを1つ選び、先生が読み上げて全員で解く。解けたら、書いた生徒に答えを言ってもらう。最後に Happy Lantern Festival! と全員で言って終える。	いちばんむずかしかったなぞなぞを全員で解く。	"This riddle was the hardest. Let's try it together." "Can you guess this lantern riddle?" "Happy Lantern Festival!"

📌 板書例

- 🏮 Lantern Festival (the 15th day of the Chinese new year)
- 🌕 the first full moon

Lantern riddles

I am _____. (色・形・大きさ)

I have _____. (体の部分・中身)

What am I?

例：I am round. I am white and sweet.

I have black sesame inside. What am I?

→ tangyuan

Is it a ____? Yes, it is. / No, it isn't.

✅ 評価のポイント

- I am ～. / I have ～. を使って、答えにつながるなぞなぞを3文で書けたか。
- 友だちのなぞなぞを読み取り、答えを英語で書けたか。
- Is it a ～? を使って、書いた本人に答えを確かめられたか。

🟡 つまづきへの手だて

- 答えが決まらない生徒には、動物（panda / rabbit / elephant）と食べ物（banana / apple / onigiri）の絵カードから選ばせる。
- 文が書けない生徒には、色（red / white / yellow）・形（round / long）・部分（a long tail / big ears）の語のリストを渡す。
- 読むのに時間がかかる生徒には、回るなぞなぞの数を3つにしばってよいことにする。

🔥 発展

- Discussion の問い If you wrote a wish on a sky lantern, what would it be? にペアで答える。
- 基本セット p.6 の迷路（Help Lily carry her lantern to the park!）で、ひみつの語 MOON を見つける。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで lantern・full moon・lion・dragon・riddle を書く。

📖 使う教材

- 基本セット p.1（読解：A Night of Red Lights）と英語ページの音声
- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き）



2. アジアの満月の夜くらべ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

中国・台湾・マレーシア・韓国・日本（長崎・小正月）の旧暦1月15日の行事を英文で読み取り、What do people do? / What do they eat? の表にまとめ、Both ~ and ~ celebrate the full moon, but ~. の形で共通点とちがいを英語で発表できる。中秋節とのちがいを説明できる。

準備

- 英文カード5枚（記事の国くらべ表の英文と本文より）：中国（People hang red lanterns and guess riddles. They eat sweet rice balls.）／台湾（In Pingxi, people write wishes on lanterns and send them into the sky.）／マレーシア・シンガポール（Some women throw oranges into the water. They hope to meet a good partner.）／韓国（Koreans call this day Daeboreum. They celebrate the big full moon.）／日本（In Nagasaki, about 15,000 red lanterns light up the city. In Japan, the same day is Koshogatsu.）
- 表のワークシート（国・What do people do?・What do they eat? の3列）
- アクティビティ集 B5（国比べ：中国・台湾・マレーシアとシンガポール・韓国の表と日本とのベン図）
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ：Riku と Mei-ling の会話。台北で湯圓を食べる場面）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	元宵節は旧暦1月15日、新年最初の満月の夜であることを確認する。「満月の夜にちょうちんを楽しむ行事は、アジアのほかの国にもある？」と問い、日本では同じ日が小正月にあたり、長崎にはちょうちんの祭りがあることを紹介する。	元宵節の日付を確認し、ほかの国の満月の夜の行事を予想する。	"The Lantern Festival is on the first full moon of the Chinese new year." "Do other countries celebrate this night too?" "Let's read and compare."
展開1	8	5人グループで英文カードを1人1枚分担して読ませる。読んだら、自分の国で人々が何をするか、何を食べるかを、グループの仲間に英語で説明させる。食べ物が書かれていないカードは not in the text と言わせる。台湾は B3 の会話でメイリンが湯圓を食べに誘うことにも気づかせる。	担当の国のカードを読み、何をするか・何を食べるかをグループに英語で説明する。	"Each person reads one card." "What do people do? What do they eat?" "If the card doesn't say, say 'not in the text.'" "Now tell your group."
展開2	7	聞いた内容を表にまとめさせる。中国は赤いちょうちんとなどなで、北では元宵・南では湯圓を食べる、台湾は平溪で願いを書いた天灯を飛ばす、マレーシア・シンガポールはみかんを水に投げて出会いを願う、と確認していく。韓国は大ポルムとして満月を祝い、日本は長崎で約1万5000個のちょうちんがかざられることも書かせる。	5か国・地域の行事を、2つの問いの表にまとめる。	"Fill in the table with your group." "In Taiwan, what do people write on the lanterns?" "In Malaysia, what do some women throw into the water?" "Check the cards again."
展開3	7	Both China and South Korea celebrate the full moon, but in China people also hang red lanterns and guess riddles. を例に、2つの国を選んで共通点とちがいを表す文を書かせる。各グループ1文ずつ発表させる。	Both ~ and ~ ..., but ~. の文を書き、グループで発表する。	"Choose two countries." "Both China and South Korea celebrate the full moon, but ..." "Write what is the same and what is different." "Group 1, please read your sentence."
まとめ	4	「ランタン・フェスティバル」は1つではないことを確認する。インドネシアやマレーシア、シンガポールでは秋の中秋節（旧暦8月15日）もランタン・フェスティバルと呼ばれることがあり、どちらも満月の夜にちょうちんを楽しむ、べつの祭りであることを伝える。	元宵節と中秋節のちがいを確認する。	"Is there only one Lantern Festival?" "The Mid-Autumn Festival is on the 15th day of the eighth month." "Both have a full moon and lanterns, but they are different festivals."

板書例

Full moon nights in Asia (the 15th day of the first month)

I What do people do? I What do they eat?

China I red lanterns, riddles, lion dance I yuanxiao (north) / tangyuan (south)

Taiwan I sky lanterns with wishes (Pingxi) I tangyuan (dialogue)

Malaysia / Singapore I throw oranges into the water I not in the text

South Korea I Daeboreum : the big full moon I not in the text

Japan I Nagasaki : about 15,000 lanterns / Koshogatsu I not in the text

Both ____ and ____ celebrate the full moon, but ____.

元宵節（1月15日）≠ 中秋節（8月15日）

評価のポイント

- 英文カードから、何をするか・何を食べるかを正しく読み取り、書かれていないことは書かれていないと判断できたか。
- Both ~ and ~, but ~. を使って、共通点とちがいを1文で表せたか。
- 元宵節と中秋節がべつの祭りであることを説明できたか。

つまずきへの手だて

- 読むのに時間がかかる生徒には、カードの動詞（hang / guess / write / send / throw / celebrate）に印をつけておく。
- 比較文が書けない生徒には、Both ____ and ____ celebrate the full moon, but in ____, people ____ の型に表の語句を入れさせる。
- 説明が苦手な生徒には、表の1行を指しながら読み上げる役にする。

発展

- アクティビティ集 B3 で Riku と Mei-ling の会話をペアで読み、役を交代して3回練習する。
- Discussion の問い Japan also has events with lights, like Obon lanterns. How are they similar to the Lantern Festival? にペアで答える。
- 天灯が火事の危険から、ベトナム（2009年）やドイツの多くの地域で禁止されていることを読み、賛否を英語で1文ずつ書く。

使う教材

- アクティビティ集 B5（国比べ）
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 記事の国くらべ表の英文と、「よくある誤解とホント」の節